



2026年6月22日

各位

会社名 KOA株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員  
向山 浩正  
(コード番号 6999 東証プライム市場・名証プレミアム市場)  
問合せ先 経営管理イニシアティブ総務センター  
ゼネラルマネージャー  
藤原 斉  
(電話番号 0265-70-7171)

### 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分（以下、「本自己株処分」という）を行うことについて、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 処分の概要

|                  |   |
|------------------|---|
| (1) 払込期日         | 2026年7月21日                                    |
| (2) 処分する株式の種類及び数 | 当社普通株式 15,900株                                |
| (3) 処分価額         | 1株につき 金2,930円 (※1)                            |
| (4) 処分総額         | 金46,587,000円                                  |
| (5) 処分予定先        | 対象取締役 (※2) 8名 9,900株<br>対象執行役員 (※2) 6名 6,000株 |

(※1) 2026年6月19日の東京証券取引所における当社普通株式の終値

(※2) 対象取締役：当社の取締役（社外取締役を含む）

対象執行役員：当社の取締役を兼務しない委任型執行役員

#### 2. 処分の目的及び理由

当社は、2022年6月18日開催の当社第94回定時株主総会において、当社の取締役（社外取締役を除く）に対し、譲渡制限付株式を交付する株式報酬制度（以下、「本制度」という）を導入すること、並びに本制度に基づき、当社の取締役（社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式に関する報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を年額90百万円以内として設定すること、及び当社の取締役（社外取締役を除く）に対して各事業年度において割り当てる譲渡制限付株式の総数は15万株を上限とすること及び譲渡制限付株式の譲渡制限期間を譲渡制限付株式の交付日から当社の取締役を退任する日までの間とすること等につき、ご承認をいただいております。

また、2026年6月20日開催の当社第98回定時株主総会において、株主の皆様との価値共有を通じて中長期的な企業価値向上を図ることを目的として、社外取締役を譲渡制限付株式の割当対象者に追加すること、並びに当社の社外取締役に対する譲渡制限付株式に関する報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を年額90百万円以内のうち年額45百万円以内とすること、及び当社の社外取締役に対して各事業年度において割り当てる譲渡制限付株式の総数を15万株以内のうち7万5千株以内とすること等につき、ご承認をいただいております。

本日、当社取締役会により、対象取締役及び対象執行役員（以下、併せて「割当対象者」という）の任期（対象取締役については当社第98回定時株主総会から2027年6月開催予定の当社

第 99 回定時株主総会までの期間、対象執行役員については 2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までの期間。以下同じ)に係る譲渡制限付株式報酬として、割当予定先である対象取締役 8 名及び対象執行役員 6 名に対し、金銭報酬債権合計 46,587,000 円を支給し、割当対象者が当該金銭報酬債権の全部を現物出資の方法によって給付することにより、特定譲渡制限付株式として当社普通株式 15,900 株を割り当てることを決議いたしました。

また、各割当対象者に対する金銭報酬債権の額は、当社における各割当対象者の役位及び職責に応じて定めた基準に基づき、委員の過半数を独立社外取締役で構成する指名・報酬委員会から相当である旨の答申を得て、取締役会の委任を受けた代表取締役社長執行役員が決定しております。また、当該金銭報酬債権は、各割当対象者が、当社との間で、大要、以下の内容をその内容に含む譲渡制限付株式割当契約（以下、「割当契約」という）を締結すること等を条件として支給いたします。

なお、本自己株処分により割り当てる譲渡制限付株式に係る譲渡制限については、当社の役員報酬等の内容の決定に関する方針及び本日開催の当社取締役会決議に基づくものであり、その具体的な内容は下記 3. のとおりであります。

### 3. 割当契約の概要

#### ① 譲渡制限期間

2026 年 7 月 21 日から割当対象者が当社の取締役及び執行役員のいずれの地位からも退任する日までの間（ただし、割当対象者が当社の取締役又は執行役員のいずれかの地位を有する間は、譲渡制限を解除しないものとする）。

上記に定める譲渡制限期間（以下、「本譲渡制限期間」という）において、割当対象者は、当該割当対象者に割り当てられた譲渡制限付株式（以下、「本割当株式」という）につき、第三者に対して譲渡、質権の設定、譲渡担保権の設定、生前贈与、遺贈その他一切の処分行為をすることができません（以下、「譲渡制限」という）。

#### ② 譲渡制限付株式の無償取得

当社は、割当対象者が、本譲渡制限期間の開始日以降、最初に到来する任期満了日の前日までに当社の取締役及び執行役員のいずれの地位からも退任した場合には、当社取締役会が正当と認める理由がある場合を除き、本割当株式を、当該退任の時点をもって、当然に無償で取得するものといたします。

また、本割当株式のうち、本譲渡制限期間が満了した時点（以下、「期間満了時点」という）において下記③の譲渡制限の解除事由の定めに基づき譲渡制限が解除されていないものがある場合には、期間満了時点の直後の時点をもって、当社はこれを当然に無償で取得するものといたします。

#### ③ 譲渡制限の解除

当社は、割当対象者が、本譲渡制限期間の開始日以降、最初に到来する任期満了日まで継続して、当社の取締役又は執行役員のいずれかの地位にあったことを条件として、期間満了時点をもって、当該時点において割当対象者が保有する本割当株式の全部につき、譲渡制限を解除いたします。ただし、割当対象者が、当社取締役会が正当と認める理由により、本譲渡制限期間の開始日以降、最初に到来する任期満了日の前日までに当社の取締役及び執行役員のいずれの地位からも退任した場合には、割当対象者が対象取締役の場合には 2026 年 7 月から、割当対象者が対象執行役員の場合には 2026 年 4 月から、割当対象者が当社の取締役及び執行役員のいずれの地位からも退任した日を含む月までの月数を 12 で除した数に、当該時点において割当対象者が保有する本割当株式の数を乗じた数（ただし、計算の結果 1 株未満の端数が生ずる場合には、これを切り捨てるものとする）の本割当株式につき、当該退任の直後の時点をもって、これに係る譲渡制限を解除するものといたします。

#### ④ 株式の管理に関する定め

割当対象者は、SMBC 日興証券株式会社に、当社が指定する方法にて、本割当株式について

記載又は記録する口座の開設を完了し、譲渡制限が解除されるまでの間、本割当株式を当該口座に保管・維持するものいたします。

⑤ 組織再編等における取扱い

当社は、本譲渡制限期間中に、当社が消滅会社となる合併契約、当社が完全子会社となる株式交換契約又は株式移転計画その他の組織再編等に関する議案が当社の株主総会（ただし、当該組織再編等に関して当社の株主総会による承認を要さない場合においては、当社取締役会）で承認された場合（当該組織再編等の効力発生日が期間満了時点より前に到来するときに限る。以下、「組織再編等承認時」という）であって、かつ、当該組織再編等に伴い割当対象者が当社の取締役及び執行役員のいずれの地位からも退任することとなる場合には、当社取締役会決議により、割当対象者が対象取締役の場合には2026年7月から、割当対象者が対象執行役員の場合には2026年4月から当該承認の日を含む月までの月数を12で除した数（ただし、計算の結果1を超える場合には1とする）に、当該承認の日において割当対象者が保有する本割当株式の数を乗じた数（ただし、計算の結果1株未満の端数が生ずる場合には、これを切り捨てるものとする）の本割当株式につき、当該組織再編等の効力発生日の前営業日の直前時をもって、これに係る譲渡制限を解除するものいたします。

また、組織再編等承認時には、当社は当該組織再編等の効力発生日の前営業日をもって、同日において譲渡制限が解除されていない本割当株式の全部を当然に無償で取得するものいたします。

4. 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本自己株処分における処分価額につきましては、恣意性を排除した価格とするため、当社取締役会決議日の直前営業日（2026年6月19日）の東京証券取引所における当社普通株式の終値である2,930円としております。これは、当社取締役会決議日直前の市場株価であり、合理的かつ特に有利な価額には該当しないものと考えております。

以 上